一般社団法人 日本歯科審美学会 認定制度・学術プログラムに関する会員アンケート 回答お礼と取り纏め結果の報告

謹啓 爽秋の候 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は本学会の会務運営に格別なるご高配を賜り、深く感謝いたしております。

昨年7月にご依頼させていただきました『本学会の認定制度・学術プログラムに関する会員アンケート』に際しましては、ご多事ご多用にも拘わらずご協力を賜り、心からのお礼申し上げます。 拝受いたしましたアンケートの回答を取り纏めましたので、ここにご報告させていただきます。 今回の調査結果からは、多くの会員が、これからの本学会の歩むべき方向性について強い関心を寄せ、会員のみならず患者国民のための歯科審美医療に向けた取り組みに求められる要素を確認することができます。特に『認定制度』については、医学系と同様に歯学系でも日本歯科専門医機構が設立され、我が国の「専門医」の在り方について具体的検討がなされている時勢を踏まえ、本学会によって協議すべき事案の明確化に寄与することに疑いの余地はありません。また、本学会が主催する学術大会・シンポジウム・セミナーにおけるプログラムについて、患者国民のための歯科医療担当者として身に付けておくべき最新の手技・器材・科学的根拠の修得機会とする要素や会員が望み期待する内容・講演人材・開催方法などが明らかになっています。

つきましては、これら貴重なアンケート結果について報告させていただき、併せて、本学会による今後の取り組みに反映させて参ります。

末筆ではございますが、会員各位のご健勝とご活躍、患者国民への審美歯科医療による寄り添い を心から期待しております。

敬白

前副理事長 齊 木 好太郎

認定制度に関する設問と回答

回答総数:346件

A-1 あなたの職種はなんでしょうか?

回答数:343件

歯科医師:177名(51.0%)、歯科衛生士:155名(45.2%)、歯科技工士:11名(3.2%)

A-2 あなたは日本歯科審美学会の役員等に就任していますか?

回答数:343件

就任していない: 288 名 (84.0%)、理事(監事、顧問を含む): 31 名 (9.0%)、上記以外の代議員: 24 名 (7.0%)

A-3 あなたは他学会の専門医・認定医(士)等を取得していますか?

回答数:342 件

取得していない:205名(59.9%)、所得している:137名(40.1%)

・取得している専門医・認定医(士)の学会名と名称を記入してください。

回答数:140 件

【歯科医師関連】

日本補綴歯科学会専門医・指導医

日本メタルフリー歯科学会認定医

日本顎咬合学会認定医

日本顎関節学会指導医

日本アンチエイジング歯科学会認定医

日本抗加齢医学会専門医

日本先進インプラント医療学会専門医

国際インプラント学会 認定医

日本口腔インプラント学会認定医 専門医

口腔インプラント学会専門医

日本歯科保存学会指導医・専門医・認定医

日本歯内療法学会認定医

日本顕微鏡歯科学会認定医

日本接着歯学会認定医

日本レーザー歯学会指導医・専門医

日本歯周病学会専門医

日本臨床歯周病学会認定医

国際歯周内科学会研究会認定医

日本成人矯正歯科学会専門医・認定医

日本矯正歯科学会専門医認定医 • 指導医

世界舌側矯正歯科学会認定医

日本オーラルヘルス学会認定医

日本口腔リハビリテーション学会認定医

日本老年歯科医学会認定医

日本口腔顔面痛学会指導医

日本歯科麻酔学会認定医

日本歯科東洋医学会専門医

日本歯科心身医学会認定医

日本歯科先端技術研究所認定医

日本歯科放射線学会認定医

- 日本総合歯科学会認定医
- 日本外傷歯学会認定医

ICOI 認定医、

- 日本歯科医療管理学会認定医
- 日本口臭学会専門医
- 日本歯科理工学会 Dental Materials Senior Adviser

【歯科技工士関連】

- 日本歯科技工学会専門歯科技工士
- 日本口腔インプラント学会インプラント専門歯科技工士
- 日本歯科色彩学会認定士

【歯科衛生士関連】

- 日本歯科衛生士会認定歯科衛生士
- 日本口腔インプラント学会認定衛生士・専門歯科衛生士
- 日本歯科衛生教育学会 認定歯科衛生士
- 日本歯周病学会認定歯科衛生士
- 日本アンチエイジング歯科学会認定歯科衛生士
- 日本顎咬合学会認定歯科衛生士
- 日本障害者歯科学会認定歯科衛生士
- 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士
- 国際歯周内科学会研究会認定歯科衛生士
- 日本口腔衛生学会認定歯科衛生士
- 日本歯科人間ドックコーディネーター

【その他】

- 日本咀嚼学会健康咀嚼指導士
- 日本口腔ケア学会認定資格
- 美容口腔管理学会認定士

A-4 あなたは認定医・認定士、ホワイトニングコーディネーターを取得していますか?

回答数:340 件

認定医を取得:65名(19.0%)、認定士(歯科技工士)を取得:3名(0.9%)、認定士(歯科衛生士)を取得: 23名(6.7%)、ホワイトニングコーディネーターのみ取得:127名(37.1%)、未取得:124名(36.3%)

●認定医・認定士を未取得の方(ホワイトニングコーディネーターのみ取得者を含む)にお尋ねします。

A-5-1 認定医・認定士の取得をお考えですか?

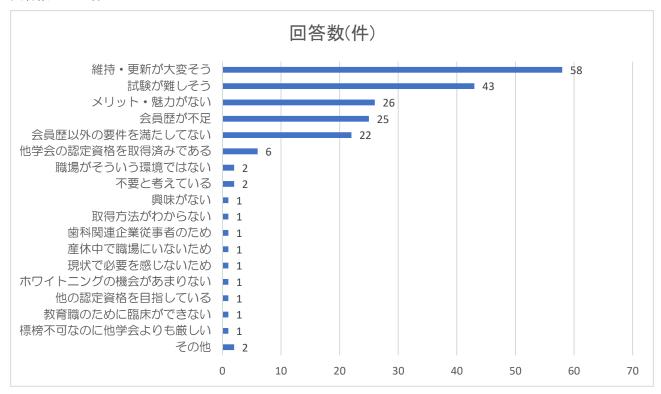
回答数:248 件

取得を考えている:145名(58.0%)、取得を考えていない:105名(42.0%)

●取得を考えていない方にお尋ねします。

A-5-2 取得を考えていない理由は何ですか? (複数回答可)

回答数:105 件



A-5-3 より多くの会員が取得するために、現行の認定医・認定士よりも取得が容易な制度(仮称: 認証医・ 認証士)が設けられましたら、取得を考えますか?

回答数:106 件

ぜひ、取得したい: 21 名 (19.8%)、どちらかといえば取得したい: 56 名 (51.8%)、

取得しない: 29 名 (27.4%)

■認定医・認定士の方にお尋ねします。

A-6-1 認定医・認定士を取得して良かったと思いますか?

回答数:90 件

とても良かった: 38 名 (42.2%)、どちらかといえば良かった: 39 名 (43.3%)、変わらない: 13 名 (14.4%)、どちらかといえば良くなかった: 0 名

・その理由は何でしょうか?

回答数:73 件 <原文のまま>

【肯定的意見】

「患者へのアピール」に関する意見

- ・経歴に加えて、患者さんにアピール出来る
- ・審美のエキスパートとしての自信と、患者へのアピール
- ・患者さんにちゃんと資格を有している者がいることをアピールできるから
- ・患者に一定以上の技術を持っていることをアピールできるから

- ・患者さんに自己紹介するときに専門性をアピールできる
- ・自己紹介するときにアピールできる
- ・認定医をもっていることで、HP等で得意分野をアピールできる
- ・自分のデンティストリー、生き方であり、患者さんへの啓蒙、他歯科医師との明確な違いのアピール
- ・患者さんの信用に関わることだから
- ・患者さまへの認定医称号の優位性
- 一般に認知してもらいやすくなる
- ・広報的な面で
- ・患者への説得力がある
- ・ 患者様への信頼獲得
- ・患者さんが歯科医師を選択する際の一応の指標となる
- ・認定医であることを知った患者さんが来られた
- ・認定医の治療を希望して受診する患者がいるから

「専門家・質的向上」に関する意見

- ・日本歯科専門医機構による専門医制度の土俵に上るための最低必要条件となったから
- ・大学や専門学校に教示できる
- ・学校教育の場で歯科審美学分野の講義を任せられた
- ・仕事の範囲が広がった
- 意識が高まる
- ・履歴書に書ける
- ・「審美」という言葉が他学会よりも民間に理解されやすい
- ・専門分野における治療への責任感の向上
- ・自己研鑽のため
- ・審美領域の治療を認定制度を通してとても勉強になったから
- ・他の歯科医師との差別化を図れる
- ・歯科審美認定医コースの大学院を開講できた
- ・歯科の特定分野での認知される資格だと思います
- ・第三者から見たときの客観的な評価基準の一つになるから
- ・一定の技量を他人に説明できる
- ・自己の目標になる
- ・審美歯科の分野でも勉強ができた
- 仕事のモチベーションが上がった
- ・希少価値があるから
- ・患者さんを診る目が以前より養われた、多くの人と交流できた
- ・今の職に役立っているから
- ・自信になる。後進への指導に説得力がある
- ・学術情報を取入れるよう努めるようになる
- ・対外的に認められている感じがする
- ・職場での信頼

- ・業績として評価された
- ・何を専門とするか説明しなくても伝わりやすい
- ・専門性の職場へのアピール
- ・認定士として取材や講演依頼を受けた
- ・得意分野が明示しやすく、信頼度が増すから
- ・審美歯科の臨床を機能、心理の面でも意識することができるようになった
- ・審美歯科治療のエキスパートとして自負できる。自信をもって歯科治療に携われる
- ・取得を目指すことが励みとなった
- ・取得の為に学び直したことが多かったから
- ・自身の軌跡として
- ・仕事に直結するから
- ・多くの情報を得られ、見る目が出来た
- 仕事に活かされているため
- ・他の歯科医師との差別化、履歴書・名刺などに記載できる
- ・患者さんに対しても、ドクター同士でも、専門性が分かりやすく相手に伝わるため
- ・肩書がつき、一目置かれるようになった

「その他」に関する意見

- ・役員になる際に有効
- ・理事・役員先生と知り合う機会が増えた
- ・同じ専門の方と知り合えた
- ・認定分科会である審美学会 HP での認定医名公表

【中立的・否定的意見】

- 肩書きが増えただけ
- ・変化が無かった
- ・特に何も学会から、無いので
- ・この学会の認定医制度の認知度が低いから
- ・学会としての認定医標榜が公にできない
- ・肩書的に言える専門医を作ってほしい
- 利点をあまり感じられませんでした
- ・取得が容易なため思い入れが少ない
- ・大学職員であり日本矯正歯科学会の指導医が優位にある
- ・現在臨床から離れているため
- ・専門性を活躍させるような臨床がそれほどない
- ・有資格者として活動する機会がない
- ・審美歯科学会においての審美歯科認定士(歯科衛生士)に対する位置付けが低い
- ・臨床において歯科技工士、衛生士チームワークが必要にも拘わらず、その存在が薄いように感じる
- ●日本歯科審美学会では、会員数に比べて認定医・認定士取得者数が少ないといわれています。

A-6-2 より多くの会員が取得するために、現行の認定医・認定士よりも取得が容易な制度(仮称: 認証医・ 認証士)を設けることについて、どのようにお考えですか?

回答数:91 件

良い制度だと思う: 26 名(28.6%)、どちらかといえば良い制度だと思う: 21 名(23.1%)、どちらかといえば良い制度ではないと思う: 10 名(11%)、良い制度ではないと思う: 34 名(37.4%)

●その理由は何でしょうか?

回答数:75 件 <原文のまま>

【肯定的意見】

- ・認定医の取得レベルはあげたままで、入会 2 から 3 年目の者が会員継続の意欲を持ち続ける為には良い ことと思います
- ・学会所属して 2~3 年位で、まず取得出来る初期の資格は、学会の継続や学会発表、認定医取得を目指す 大きな動機になると思います
- ・より多くの会員がトライしやすくなる
- ・より多くの方に学会を知って頂く、そして認定資格を活かしていただく機会が増えると思うため
- ・多くの方に取得していただき認知度を高め事につながると思います
- ・認定医を取得するためのきっかけになりそう
- ・認定医を意識する良いきっかけになる
- ・認定医 認定士を増員させた方が組織として充実し、専門分科会への昇進も目指せるのではないかと考えた
- ・学術部門への参加者数の向上につながると考えられる
- ・間口を広くするのはいい、クオリティコントロールが問題
- ・認知度の向上に繋がる
- ・審美歯科の認証を受けるきっかけとなり、さらに認定医へとステップアップするために良い方策と思います
- ・取得することにより、学会へ積極的に参加、発表するようになると思う
- ・認定医申請の単位取得が容易ではないことが、学会としての質を下げないと思います。そういった意味 では、認証医制度は良いかもしれません
- ・学会の存在意義を高めることができると考えられるため
- 会員のモチベーションアップ
- ・制度の敷居が高いと多くの人が思い希望者が少ないと考えられるため
- ・その制度が認定医取得のゲートになる可能性
- ・2 段階の認定として専門性を高められる
- ・認定医取得を目指す足掛かりとなる。その結果、認定医取得者の増加が見込める
- ・人数を増やした方が活性化につながる
- ・呼称はともかく現在の認定医を専門医に昇格させるために必要。資格取得者数が少ない理由の一つとして(とくに認定医)、課される要件が厳しいという意見が多い
- ・審美学会への積極的参加のモチベーションになる
- ・ワシントン大スピアーやコイスが言う真の審美症例を実践している一般開業医にもっと門戸を開き学会 全体のレベルを上げるべきである

- ・患者が歯科医院選択に戸惑わないため
- ・認定医取得はより難しいレベルを維持してその価値を維持
- ・良い制度だが認定医への2段階審査にはしないで欲しい いきなり認定医を目指す道は残して欲しい
- ・興味をもって貰える機会が増えるのは良いことですが、ある程度のレベルを有する事は必要だと思う
- クオリティコントロールの問題
- ・スキルだけではなく、ソフト面との両立を図ると自然とハードルは高くなるのでは?
- ・巷には、偽の審美歯科は氾濫している
- ・沢山の医療人に理解される為
- ・患者さんにより高い医療提供するために専門性を高めていく必要があり、そのような技術、知識をもつ プロフェッショナルであることを対外的に認知してもらうことができるから
- ・取得が容易であれば取りたいと思う人が増加する
- ・私も取得したいがハードルが高く難しいので
- ・現在の認定医は敷居が少し高い

【否定的意見】

「レベル」に関する意見

- ・自分なりに、一生懸命取り組んだ成果として認定して頂いたので、容易にしてほしくない
- ・差がありますか?
- ・認定医の取得条件もそれほど大変とは思えない
- ・簡単に認定医がとれる制度では、認定医の価値が下がり、学会のレベルが低下する
- ・会員は認定医の取得を目標にすべきである
- ・認証医や認証士を取得しても、認定医の取得にレベルアップしない可能性が高い
- ・さらに認定医の価値が下がってしまう
- ・認定医の価値が下がると思われる
- ・認定士を受ける人がいなくなって、資格自体が軽く見られてしまうので、それより簡単な資格は必要無 いと思います
- ・認証医?なのに、認定されてる医師と表記するドクターが出てくるでしょう
- ・認定医との違いが患者側から分かりにくそうだから
- ・認証医・認証士を制定することにより、認定医・認定士の価値が低くなる気がします
- レベルの質がよりひくくなるのでは?
- ・あいまいな知識や技術の歯科医が認定医を名乗ることで歯科審美学会認定医のステイタス、品格そのものが価値のないものとなる
- ・患者様を診る立場の医療の専門職である以上、より高度な認定をクリアしなければならないのは当たり 前
- ・制度の問題ではなく、中身だと思う
- ・患者には認定医との差がわからかくなり、混乱を招く恐れがあるため
- ・患者、国民視点で見れば、優れた医療者をどう選択するかは、認定を出した学会を信じるしかないので、 審美学会が地に堕ちるようなことをすべきではないと思います

「取得者数」に関する意見

- ・学会が認定取得者の技術を担保するのだから、数を増やすことより質を重視し、安易に認定を与えるべきではないと思います
- ・希少価値がなくなるから
- ・むやみに認定医を増やす必要がない
- ・より多くの会員が取得するとする意味がわからない
- ・クオリティの担保ができますか?会員を増やしたいがための施策ですか?
- 質は高いほうが良いと思う
- ・価値が低下する
- ・簡単に取得出来ては、認定医の価値が下がる
- ・容易な審査で認定するのは無責任のような気がします。

「取得・更新の難易度」に関する意見

- ・更新時のハードルが高いため
- ・認定取得も厳しいが、更新も厳しいと思うから
- ・各学会の認定制度にばらつきがある、認定医・認定士の設定が高すぎる
- ・魅力があれば価値はあがるので、まずは認定取得がどのような価値観を生み出すかを伝え、それから制度を見直すべきだと思う
- ・学会発表が一般開業医にとってハードルが高すぎる
- ・発表が義務だと苦しい時がある
- ・取得難易度より、まずは制度の目的および取得の意義を明確にすべき
- ・学会所属・資格更新料・単位取得・移動費・宿泊代に毎年金額がかかりすぎる。
- ・認定医が少ない理由は取得条件ではなく、更新条件が他学会に比べて厳しいと思われるため。特に歯科 審美学に関連する領域の発表:10単位以上 関連学会での業績評価単位が少なく、複数学会所属会員に は更新が厳しいと感じます

「その他」に関する意見

- ・患者さんにとっては認定医と認証医の違いが不明確なため良い制度ではないと思われる
- ・煩雑になって分かりにくくなる
- ・認定医を取得しても HP などに記載できずアピールする方法がないためそのような認証医が作られても 取得してもあまり意味がないものとなるかと思う
- ・必要性を感じない
- ・取得後は学会に参加する可能性が薄いと思われるため
- ・患者さんに対しては分かりにくいため、それよりも会員に認定医を取得する魅力や方法について伝える 方が良いように思います
- ・現行のままのほうがシンプルで良いと思う
- A-7 現在の日本歯科審美学会の認定制度において、良い点または問題点等がございましたら、お書きください

回答数:134 件 <原文のまま>

【良い点】

- ・認定基準が厳格な点
- 宜しいと存じます
- ・認定医数が少ない事はとても重みがあり良い
- ・貴学会の認定医を取得したいと考えています
- ・制度も明確で特に問題点は思いつきません
- ・認定医が少ないことが自分の中では良い点だと思います
- ・認定医(士)試験を歯科医師、技工士、衛生士で審査している
- ・特定の期間に在籍していなくとも取得できるところ
- ・高すぎないハードルはよいと思う
- ・更新に際し点数がとりやすい
- ・日本のホワイトニングの普及活動を牽引している
- ・専門知識が得られる
- ・症例を発表して審議してもらえること
- ハードルは高くても構わない
- ・技工士の認定士制度があること
- ・認定士として活躍の場が広がる
- ・認定医のクオリティが高い
- ・HPでの認定医連絡先公開
- ・他の学会とそれほどかわらないので、問題ない

【問題点】

「取得難度」に関する意見

- ・いざ取得したいと思ったときに、大学等に所属していないと認定を取得するための症例数や著者演者の 単位のハードルがあまりに高すぎる感じがする
- ハードルが高い
- ・個人として学会発表のハードルが高い
- ・認定単位・症例のハードルが高い、認定医取得可能までの期間が長い、更新のハードルが高い
- ・症例数が少なく学会発表はハードルが高い
- ・認定医取得のハードルが高い
- ・認定医取得までのハードルが高い
- ・認定医のハードルを下げて
- 発表のハードルが高すぎる
- ・認定医の施行細則は結構ハードルが高いと思う
- ・更新時の要件が他学会に比べて高く、ハードルが高いと思います。大学勤務時代は問題ありませんでしたが、非常勤になり開業医に勤務すると、筆頭著者としての原著論文や学会発表がとても難しく感じて おります
- ・学会発表が必須である点が、認定医取りづらいと考えます
- ・認定医取得の学会発表の単位数が多過ぎる
- ・学会で発表しないといけない

- ・常勤で働いていて家庭もあり その中で学会での発表とかは 今の現状では難しいです
- ・認定医申請・更新の基本的条件に問題があります。筆頭著者で論文発表を行えば、可能にするべきである
- ・症例プレゼンテーション必須が難易度を高め、認定医取得者数が増えず、よって社会に対する認知度が 得られがたく思われます
- ・現行制度では多数の論文提出が必須で大学関係者以外の取得が困難
- ・結局は、大学に所属してないと認定医を取得するのが難しいとの意見を多く聞きます
- ・出来れば年間コースやポイントやテストで取得出来れば嬉しいです
- ・学会出席による更新が可能であれば認定医取得歯科医も確実に増えると思います
- ・長期症例を術後3年以上の経過を追うのが困難である
- ・認定試験が難しそうでなかなか行動を起こせない
- ・症例のポイントが不明
- ・取得が容易である上にその審査基準が曖昧
- ・認定試験は難しくし、特別なもののほうが、価値がある

「取得制度の不明」に関する意見

- ・認定士を取得するために、どの様な事を行うのか具体的な流れがわかりません
- ・もう少しどうしたら取得出来るか簡単に広めるべきだと思う
- ・認定基準が良くわからない。提出するものは大体理解できた
- ・日本審美歯科学会の認定医は取得したいと考えているが、論文など、どのように書かないといけないと か指導がないので難しいと思います
- ・補綴学会がずっとやっているように、専門医取得をポスター掲示+公開審査(30分)は来場者にアピールと、これから認定医(専門医)を目指す者の目標になるのでベスト

「地域性の問題」に関する意見

- ・学会 セミナーの開催が関東 関西等で東北など遠方からの出席が仕事をしながらの参加は難しい
- ・認定試験が、首都圏に集まり、地方の日とは受けづらい
- ・地方に住んでいるので、都心での講習会に頻繁に参加することが難しい

「その他」に関する意見

- ・認定医取得後のメリットが不明確
- ・認知度が 低い
- 良い点はない
- ・審査申請および審査時期が悪い(他の公務と重なる)
- ・他の学会と大差がない
- ・認定医(認定士)を有することの意義、有効性が不明確と考えます
- ・私の中では、課題点という理を入れさせていただきます。機能性という言葉が独り歩きをしているだけで、機能性という視点では科学という土俵に立つと基準があるようでないと思われる事
- ・一般診療で、役に立つホワイトニング例えば、ホームホワイトニングやホームケアでのやり方など、 専門家が見た目線での話ではなく、患者目線からみた内容 、説明しやすい話術を講習会でやってほしい

A-8 多くの会員が認定医・認定士を取得するために、良い方策がございましたら、お書きください。

回答数:135件 <原文のまま>

【取得方法について】

- ・おそらく認定医取得要件を緩和すれば、一定程度取得希望者は増加すると思います。ただ、緩和し過ぎると認定医自体の価値が低下する恐れがあるので加減が難しいですが…
- ・もう少し簡単に短期で取得できたらうれしい
- ・もう少し取得しやすいように単位等の見直しをしてほしい
- ・取得単位の点数を下げる、提出症例の期間短縮、更新条件の緩和
- ・条件を下げる
- 会員歴の規定を緩和する
- ・資格取得および維持の条件を緩和すればよい
- ・発表と治療の単位をもう少し下げればいいと考えます
- ・学会発表なければ取りやすいと思います
- ハードルを低くする。
- ・より簡易的にする必要があるのでは?
- ・発表を義務付けない
- ・学会やセミナーに参加するだけでよいなら考える
- ・勤務先のドクターとの考え方の違いなどから、協力を得られなくても、セミナーなどで、取得できるようにしてほしい
- ・自分は研修歯科医の教育を担当しており、認定医の取得について指導をおこなっています.多くの若い 歯科医は取得を希望していますが、大学等で研修しなければならない期間が長いことがネックとなって あきらめるケースが非常に多いです.認定申請者を増やすことが目的であれば、研修方法に工夫をする ことが有用と考えます
- ・歯科衛生士の認定士取得の為に大きなハードルとなるのは学会発表や論文などの経験部分かと思います。 その部分があるからこそ限られた人達しか成れず、そこが魅力です。ですが、多くの方になって頂くな らば、学会発表経験に関する部分を他の主要学会認定を取得している方は、ネット上での基礎知識講義 とテストの合格で免除とする。などの手助けがあると取りやすいのでは無いでしょうか
- ・複数回~数か月に渡る連続した研修プログラムを受講することで、認定医を取得できるようにする等の 質的に揃えるような施策を希望します
- ・ホワイトニングコーディネーターから認定士に移行できるシステムを作る
- ・他の学会の認定医・認定士の取得条件を参考にする。表記できる認定医・認定士でもないのに表記可能 な認定医・認定士よりも条件が厳しいのは如何なものかと思う
- ・他学会論文の読み替え、本学会での複数主発表での認定医取得
- ・学会員歴10年以上の会員に対してハードルを下げるなど上記の改善(特にアナウンス)
- ・認定医申請資格の論文や学会発表の項目を無くす
- ・論文はなくとも症例数を多く出させ、それを厳しく審査することで一般開業医も参加しやすくする
- ・現行制度を指導医、論文数を求めない制度を新認定医とすれば良い
- ・他学会専門医取得者に於いては、症例プレゼンテーションの省略等の期間を設けて、認定医・認定士数

- の増加を考える処置は如何でしょうか?
- ・日本口腔インプラント学会のような大学外の認定研修施設を設ける
- ・認定医→専門医のような2段階とする
- ・認定医を専門医に表記を変更すれば、取得率を増やせれると考える
- ・提案されているような認定医の2段階方式
- ・認証医・認証士は良いと思う
- ・他学会のように2段階制にするといいと思う

【審査方法について】

- ・公開審査です
- ・審査申請および審査時期をもっと分散させるべき (会員のことをもっと考えて分散して、増加すべきと 思いますが)
- ・症例のクライテリアを明確にする
- ・症例について、期間などを短縮する代わりに、診断や考察をより深める方向にしたらいいと思う

【取得に伴うメリットについて】

- ・審美が経営に直結するという状態になる時、認定医・認定士を取る動機が生まれるのではないでしょうか? あるいは、社会的ステータスとして価値が高まるとなれば、モチベーションが上がるのではないかと考えます
- ・認定医(認定士)を取得してよかったと考える種々の領域の先生方による、取得の意義ならびに日常臨床での利点などを提示する機会を設けてはと考えます
- ・取得する魅力を全面にだす。もしくは取得した方から取得して良かったことを聞ければよいかと思う
- ・認定取得者の発表
- ・取得して良かったと思うような方策があれば良いとは思うのですが、具体的に思いつきません。ただ、 今後の専門医制度(日本歯科専門医機構)のメリットが明確化されれば(要は AACD の Credential system のように「飯のタネ」になれば)、取得者は自然に増えると思います
- ・取得後のメリットがあれば有難い
- メリットを出す
- ・認定士になるメリットがもっとあれば多くの人が取得すると思う
- 標榜できるようにすること
- ・会員への通知の徹底およびなにか認定医を持つとアドバンテージを有するようにする
- ・メリット増、メーカーインストラクターへの推薦、海外学会演者への推薦等
- ・認定医がないと買えない材料があったり、先行情報があるなど利点を増やす
- ・学会が国民に向かって歯科審美学会の認定医制度ならびに認定医のいる医療機関名、そしてそこでの審 美治療が優位であることをもっと多くの媒体で紹介することで、ただ会員であることより認定医として アピールが可能となり取得希望者が増えると考える
- ・興味を引く、参加したくなるような学術大会やセミナー内容の充実。認定医、認定士になることのメリットの提供(ポスター、審美歯科治療において、その専門である学会や、その学会の認定した認定医、

認定士という審美専門家がいる事の、一般人への情報発信など)

【更新について】

- ・更新条件が開業医では厳しい
- ・認定医更新条件の軽減、他専門分科会業績の評価だけでも更新できるようにする
- ・開業医の先生が取得後も認定医を維持しやすい環境作り。大学などとの繋がりがないと発表することが 一つの大きなハードルになる
- ・認定医更新の規定を、学会参加のみでもできるくらいハードルを下げると、取得しようとする人も増え るのではないかと考えます

【サポート体制について】

- ・認定医を取得するために必要なことを周知する
- ・取得要件を明らかにする
- ・方法について周知すること
- 手順や取得の説明会
- ・学会発表において臨床的な症例報告を推奨する
- ・認定取得を目指す人を対象としたセミナーや、症例指導をしてはどうですか?
- ・認定医などを取得するためのコツ(資料採取の仕方、書類の書き方)などを講習会として行うなど
- ・実際の書類審査の書類例が詳しく掲載されていると嬉しいと思います
- ・サンプルレポートがあるとありがたい
- ・必要な書類や見本がダウンロード出来たり、オンラインで入力できたり、写真もアップロード出来ると 便利かもしれない
- ・他学会では学術大会時に一講演として認定取得を希望する方に書類の書き方やケースプレゼンテーションの注意事項を教えて頂くものがありますので、具体的な取得方法を会員に提示するのはいかがでしょうか
- ・実際のケースプレゼンテーション症例を一部でも良いので用いて体験記の様な形で講演するにはいかがでしょうか。
- ・学会発表のためのサポート体制が整備されているといいと思う
- ・学会が東京だと行きやすいです。
- ・会場に足を運びやすいので取得に意欲が湧きそうです
- ・地方でも認定会を開催して頂けると嬉しいです
- ・東京での勉強会ばかりではなくもっと地方でもたくさんの勉強会をひらいていただきたいです
- ・地方での認定試験を増やしてほしい
- ・地方会をしては?
- ・地方での講習会をもっと増やして欲しいです
- ・都市部ばかりでなく日にちを変えて、色んな地方都市で小さくてもたくさん取得できる場を設けてほしい。
- ・東北在住です。東北開催を多くして欲しいです
- ・北海道在住なのですが、学会やセミナーに参加するために、交通費や宿泊費などかなりかかります セミナーは、北海道でももう少し多く開催してくれると助かります

- ・認定衛生士のように、研修会が各地域で数多くあり出席しやすい、また、研修費も適度に高く適度に安 い。そんな、研修会であれば、取得が容易であると思います
- ・段階を帯びたセミナー設定
- ・出来るだけ低コストの勉強会を
- ・年間コースやテストを実施すれば良いと思います
- ・認定医取得のための何らかの研修コース
- ・学術大会、セミナーに参加しやすくするための方策(本会場以外でもサテライト中継が見れるなど)
- ・歯科医院に呼び掛けをした方がいいと思う
- ・ホワイトニングコーディネーターを取得したいという歯科衛生士はとても多いけれど、認定士を取りたいという方が少ないのは、やはり取得するためのハードルが高いと考えます。学会でオーラルやポスター発表をしている人の方が、審美歯科に興味や関心が高い歯科衛生士だと思うので、そのような人から直接声をかけていき認定士を取得して頂くのはいかがでしょうか。歯科衛生士全体に呼びかけるよりも説得力がありそうな気がします
- ・学会会場で認定医・認定士取得の相談窓口を設ける
- ・認定医(士)を取得するための how to セミナーを学会中に開催する
- ・現在の認定医は保存学会、補綴学会、矯正歯科学会、インプラント学会の専門医取得者も多く、追加で 審美学会の認定医になった場合、認定医・認定士を取得した方の経験・体験談を公開
- ・世の中に「歯科審美」という言葉をもっと発信していくこと。社会での歯科審美の需要が高まれば、歯 科界での序列がかわり、認定医取得者が増えると思う

【否定的意見】

- ・多くの方が認定され得るとすれば、価値は逆に下がるものです。今のままの、孤高な制度だからこそ狙 いたくなる資格であり続けてほしいです。認定資格を粗製濫造するような、安易な流れに乗ってほしく ないと思います
- ・認定医を簡単に取得できる制度はかえって逆効果、ホワイトニングコーディネーターの二の舞いになる
- ・取得条件のハードルを下げるのは一方だと思うが、質が落ちる結果にならないか心配
- ・認定資格取得者の数を増やすことではなく、その在り方を話あい、上記のことを伝えていくことだと思います。(学術大会などを使い、発表するチャンスを会員に与えることなど)
- ・歯科専門医機構も発足したので、敷居を下げるような対応は慎重にすべきだ
- ・あまりどういうものなのか他の学会よりわかりにくく、取得してもメリットが少ないかもしれません

【その他】

- ・審美歯科の専門性のある歯科医師は、歯科衛生士の能力をひきだすように積極的に臨床に携わせ、お互 いの立場を尊重し、やる気と責任感を持たせるべき
- ・メールでは、文字情報量が多く見逃してしまうことが多いので、改号誌にて、認定士の歯科審美に関する発表の一部を、写真付きなどで掲載することは可能なのでしょうか?
- ・こちらのアンケートで、初めてこういった制度を知り興味がわきました。
- ・補綴学会の専門医審査会場はとても活気があります、審美学会もこれから認定医を取得しようとする先生の参考になると思います
- ・日本歯科医学会の専門分科会に入会することは必要だと思います.

- ・認定医、認定士が活躍するしかないのでは?
- ・私の様に、主婦が衛生士のパートに出ているくらいでは、なかなか取得するのに勉強する時間がなく、 またお金もかかるので取得したくても出来ない現状です
- ·SNSによる、情報配信があると助かります
- ・幅の広がった認定制度にしてほしい

学術プログラムに関する設問と回答

- ●学術大会やセミナー等学術プログラムへの参加についてお尋ねします。(歯科医師向け)
- B-2 プログラムに参加したことがありますか?

回答数:176 件

- (1) 良く参加する。: 75 名 (42.6%)、(2) 時々参加する。: 79 名 (44.9%)、(3) 参加したことがない。: 22 名 (12.5%)
- ●参加した理由について
- B-3 参加した理由は何ですか? (複数回答可)

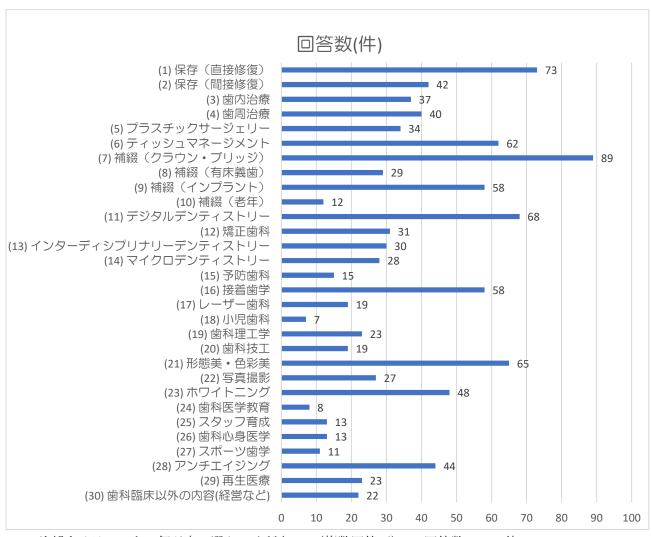
回答数:154 件

- (1) 興味あるテーマだった。: 122 名 (79.2%)、(2) 担当する講師の話を聞きたかった。: 77 名 (50%)、(3) 認定医申請・更新資格取得のため。: 77 名 (50%)
- B-4 参加しない理由は何ですか? (複数回答可)

回答数:21 件

(1) テーマに興味がなかった。: 3 名 (14.3%)、(2) 担当する講師の話は既に聞いたことがある。0 名、(3) 参加費・受講料が高額だった。: 0 名、(4) 都合がつかなかった。: 18 名 85.7%)、(5) 認定医資格申請・更進の単位が足りている。: 0 名

●今後の学術大会やセミナーについてお尋ねします。



B-5 希望するテーマを5個以内で選んでください。(複数回答可) 回答数:176件

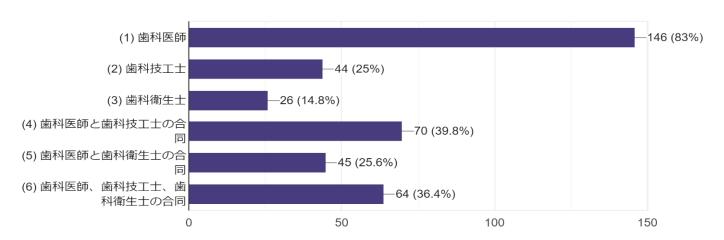
●講師について

B-6 希望する講師について教えてください。(複数回答可)

回答数:176 件

B-6 希望する講師について教えてください。(複数回答可)

176 件の回答



B-7 受講してみたい講師名とテーマを教えてください。

回答数:45 件 <原文のまま>

林 揚春、山崎長郎

山崎長郎、本多正明、内藤正裕 レジェンド先生ら

内藤正裕:経験からの教訓

大谷一紀:ジルコニア接着ブリッジ

高橋 登:ダイレクトボンディング

小畑 真:患者・スタッフトラブルの防止法

行田克則:ティッシュマネジメント補綴

六人部慶彦:審美修復(オールセラミック以外も含めて全般)

高田光彦 中田光太郎

木原敏裕

筒井照子: 顎関節症と矯正審美歯科、小出馨先生: 顎関節症と審美補綴

竹元京人:歯科審美における審美矯正の役割

月星

石川知弘:再生治療

富士谷:レジン臨床、秋山:マイクロ

矢谷:接着ブリッジ 貞光謙一郎:デジタル

井上裕之

西田 亙:糖尿病専門医

西田 亙:糖尿病専門医

各務 肇: 顎関節を考慮した矯正治療

青島徹児:ダイレクトボンディング

松本勝利:デンチャーの審美について

Dr.Giovanni Zucchelli : プラスティックサージェリー

Viktor Scherbakov:写真の撮り方やソフトの使い方、ダイレクトボンディングなど

有名な海外演者の1日講演を受講してみたいです。

マイクロスコープ インプラント

ダイレクトボンディング系

Collaborative tx-related theme and its long-term stability

スマイルデザイン

患者やスタッフとのコミュニケーションに関する講義

チームマネジメント

審美的治療を成功へ導く他職種アプローチ

ホワイトニング (2名)

ジルコニアの材料学的基礎、接着、臨床 2BTA vs. B OPT

プレップレスのベニア

自信を持って審美治療を行う上で必要な歯内治療の知識と技術

●セミナーのみについてお尋ねします。

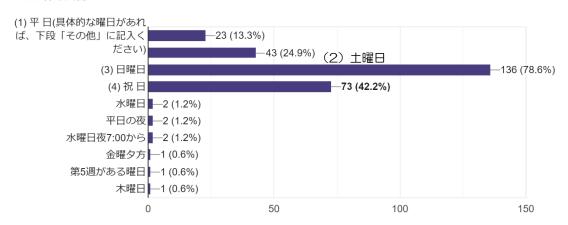
B-8 セミナーの開催は、年に何回程度が良いと思いますか?

回答数:174 件

- (1) 1回:27名 (15.5%)、(2) 2回:78名 (44.8%)、(3) 3回:37名 (21.3%)、(4) 4回:17名 (9.8%)、
- (5) 5回以上:15名(8.6%)
- B-9 セミナー開催日として希望する曜日をお尋ねします。(複数回答可) 回答数:173 件

B-9 セミナー開催日として希望する曜日をお尋ねします。(複数回答可)

173 件の回答

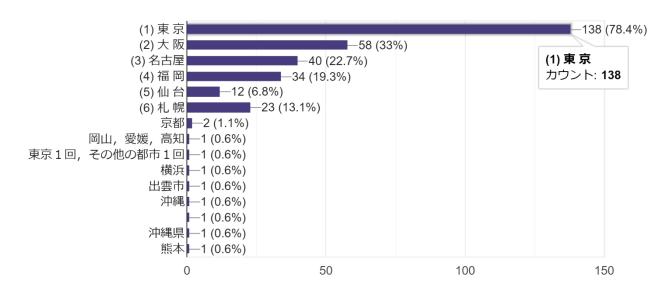


B-10 開催地の希望を教えてください。(複数回答可)

回答数:176 件

B-10 開催地の希望を教えてください。(複数回答可)

176 件の回答



- ●セミナーの形式についてお尋ねします。
- B-11 セミナーはどのような形式が良いと思いますか? (複数回答可)

回答数:177 件

- (1) 講演を中心とした形式: 124 名 (70.1%)、(2) デモンストレーションを中心とした形式 (実習は行わない): 99 名 (55.9%)、(3) 実習を中心とした形式: 82 名 (46.3%)
- ●実習コースについて
- B-12 1日実習コースについて、どの程度の受講料であれば参加希望しますか?

回答数:177 件

- (1) 1万円未満:33名(18.6%)、(2) 1万円以上~2万円未満:72名(40.7%)、(3) 2万円以上~3万円未満:28名(15.8%)、(4) 3万円以上~4万円未満:6名(3.4%)、(5) 4万円以上~5万円未満:2名(1.1%)、
 - (6) 5万円以上:0名、(7) コースの内容が良ければ受講料は考慮しない:36名 (20.3%)
- B-13 実習コースで受講してみたい講師とテーマを教えてください。(複数記載可)

回答数:39件 <原文のまま>

大谷一紀先:ジルコニア接着ブリッジ

マイクロスコープ

林揚春、山崎長郎

光学印象

スマイルデザイン

櫻井靖之(DT)

各務 肇、山口 大、橋場千織

レイヤリング

青島先生:ダイレクトボンディング

内藤正裕先生:形成と印象の極意

支台歯形成

宮崎真至:ダイレクトレジン

高橋 登:ダイレクトボンディング

青島徹児 高橋 登:ダイレクトボンディング

安藤正実:ザイゴマインプラント

若林健史:歯周外科 OPE

保坂:直接修復)、木林、中田:歯周外科、GBR

GPによるマウスピース矯正 (アソアライナーの活用)

口唇エステ 松尾 (女性)

咬合採得

阿部二郎

秋山:マイクロ、富士谷:レジン

筒井照子

Dr.Giovanni Zucchelli : plastic surgery

結合組織移植、ティッシュマネジメント

矢谷:接着ブリッジ

ダイレクトボンディング

貞光謙一郎:審美修復

様々なベニアの形成

直接法コンポジットレジン

行田:歯冠形成テクニック(2名)

Viktor Scherbakov:写真撮影

材料の本来の使用法と異なった目が点になるような使用法

●セミナーのシリーズ化についてお尋ねします。

B-14 セミナーのシリーズ化について

回答数:177 件

- (1) 何回かでシリーズとなっている方が良い。: 32 名 (18.1%)、(2) 単回で完結する方が良い。: 76 名 (42.9%)、
- (3) いずれでも良い:69名(39%)

B-15 シリーズ化を図るとすれば、何回程度を望みますか?

回答数:99 件

- (1) 5~6回:7名 (7.1%)、(2) 3~4回:76名 (76.8%)、(3) 2回:16名 (16.2%)
- ●講演内容について

B-16 一日講演コースへの御希望をお聞かせください。

回答数:170 件

(1) 講演内容は一つのテーマで統一されたものが良い。: 117 名 (68.8%)、(2) 講演内容は複数のテーマを組み合わせたものが良い: 53 名 (31.2%)

B-17 講演してほしい講師のお名前を教えてください (複数回答可) <原文のまま>

大谷一紀

武田孝之

筒井照子、小出 馨、各務 肇、橋場千織、山口 大

日本以外で有名なドクターの講演を聞いてみたい

桑田正博、白鳥清人、内藤正裕

高橋 登、青島てつじ

坪田健嗣(×3)、BTAテクニック補綴技法

竹元京人

かづきれいこ、宝田恭子

小濵忠一

秋山、冨士谷

木原敏裕

矢谷

貞光謙一郎

井上裕之

田上順次

各務 肇・筒井照子

B-18 一日の講演で講師は何人が良いと思いますか?

回答数:174 件

- (1) 1名:21名 (12.1%)、(2) 2名:71名 (40.8%)、(3) 3名:59名 (33.9%)、(4) 4名:22名 (12.6%)、
- (5) 5名以上:1名(0.6%)
- ●学術大会やセミナー等学術プログラムへの参加についてお尋ねします(歯科技工士向け)。
- B-2 (DT) プログラムに参加したことがありますか?

回答数:11 件

- (1) 良く参加する。: 5 名 (45.5%)、(2) 時々参加する。: 5 名 (45.5%)、(3) 参加したことがない。: 1 名 (9.1%)
- ●参加した理由について
- B-3 (DT) 参加した理由は何ですか? (複数回答可)

回答数:10件

- (1) 興味あるテーマだった。: 8 名 (80%)、(2) 担当する講師の話を聞きたかった。: 4 名 (40%)、(3) 認定 士申請・更新資格取得のため。: 5 名 (50%)
- B-4 (DT) 参加しない理由は何ですか? (複数回答可)

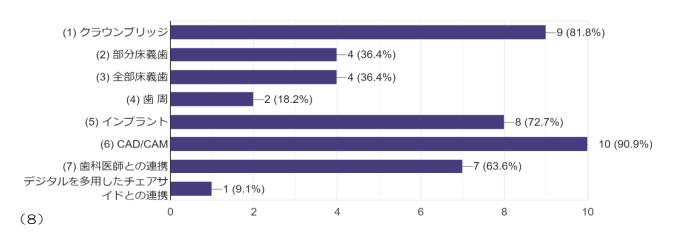
回答数:1 件

- (1) テーマに興味がなかった。0 名、(2) 担当する講師の話は既に聞いたことがある。0 名、(3) 参加費・受講料が高額だった。: 0 名、(4) 都合がつかなかった。: 1 名(100%)、(5) 認定医資格申請・更進の単位が足りている。: 0 名
- ●今後の学術大会やセミナーについてお尋ねします。
- B-5 (DT) 希望するテーマを5個以内で選んでください。(複数回答可)

回答数:11 件

B-5(DT) 希望するテーマを5個以内で選んでください。(複数回答可)

11 件の回答



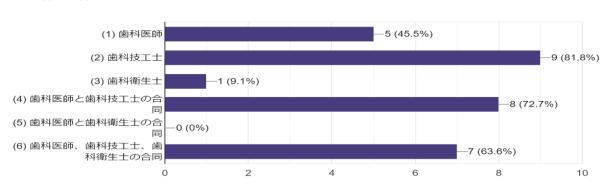
●講師について

B-6 (DT) 希望する講師について教えてください。(複数回答可)

回答数:11 件

B-6(DT) 希望する講師について教えてください。(複数回答可)

11 件の回答



B-7 (DT) 受講してみたい講師名とテーマを教えてください。

回答数:4 件 〈原文のまま〉

六人部

佐藤こうじ

湯浅直人、高井基督、本多正明

●セミナーのみについてお尋ねします。

B-8 (DT) セミナーの開催は、年に何回程度が良いと思いますか?

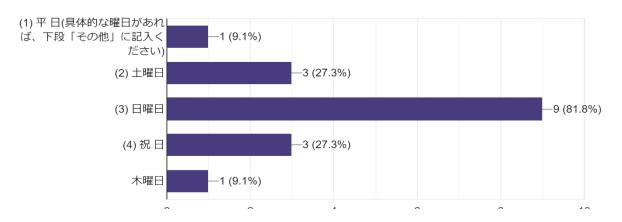
回答数:11 件

(1) 1回:1名 (9.1%)、(2) 2回:6名 (54.5%)、(3) 3回:2名 (18.2%)、(4) 4回:2名 (18.2%)、(5) 5回以上:0名

B-9 (DT) セミナー開催日として希望する曜日をお尋ねします。(複数回答可)回答数:11 件

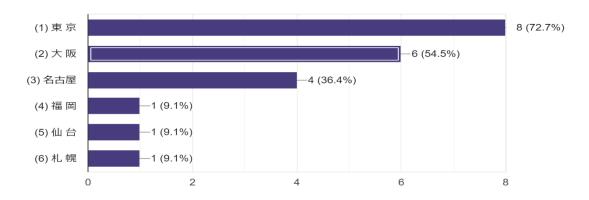
B-9(DT) セミナー開催日として希望する曜日をお尋ねします。(複数回答可)

11 件の回答



B-10(DT) 開催地の希望を教えてください。(複数回答可)

11 件の回答



B-11 (DT) セミナーはどのような形式が良いと思いますか? (複数回答可)

回答数:11件

(1) 講演を中心とした形式:10名(90.9%)、(2) デモンストレーションを中心とした形式(実習は行わない):5名(45.5%)、(3) 実習を中心とした形式:3名(27.3%)

B-12 (DT) 1日実習コースについて、どの程度の受講料であれば参加希望しますか?

回答数:11 件

(1) 1万円未満:4名(36.4%)、(2) 1万円以上~2万円未満:2名(18.2%)、(3) 2万円以上~3万円未満:1名(9.1%)、(4) 3万円以上~4万円未満:0名、(5) 4万円以上~5万円未満:2名(18.2%)、(6) 5万円以上:0名、(7) コースの内容が良ければ受講料は考慮しない:2名(18.2%)

B-13 (DT) 実習コースで受講してみたい講師とテーマを教えてください。(複数記載可)

回答数:5 件 〈原文のまま〉

技工士

吉田 亨、小田中康弘、瓜坂達也

多色築成 ポーセレン

シェードテイクにおけるカメラワーク

湯浅直人、滝澤 崇、セラミック築盛

●セミナーのシリーズ化についてお尋ねします。

B-14 (DT) セミナーのシリーズ化について

回答数:11件

(1) 何回かでシリーズとなっている方が良い。: 0 名、(2) 単回で完結する方が良い。: 6 名 (54.5%)、(3) いずれでも良い: 5 名 (45.5%)

B-15 (DT) シリーズ化を図るとすれば、何回程度を望みますか?

回答数:5件

(1) $5 \sim 6 \, \Box : 0 \, A$, (2) $3 \sim 4 \, \Box : 4 \, A$ (80%), (3) $2 \, \Box : 1 \, A$ (20%)

●講演内容について

B-16 (DT) 一日講演コースへの御希望をお聞かせください。

回答数:11件

(1) 講演内容は一つのテーマで統一されたものが良い。: 10名 (90.9%)、(2) 講演内容は複数のテーマを 組み合わせたものが良い: 1名 (9.1%)

B-17 (DT) 講演してほしい講師のお名前を教えてください (複数回答可)

回答数:0件

この質問には、回答がありません。

B-18 (DT) 一日の講演で講師は何人が良いと思いますか?

回答数:11 件

(1) 1名:2名(18.2%)、(2) 2名:7名(63.6%)、(3) 3名:1名(9.1%)、(4) 4名:0名、(5) 5名以上:1名(9.1%)

●学術大会やセミナー等学術プログラムへの参加についてお尋ねします (歯科衛生士向け)。

B-2 (DH) プログラムに参加したことがありますか?

回答数:153件

(1) 良く参加する。: 10 名 (5.5%)、(2) 時々参加する。: 73 名 (47.7%)、(3) 参加したことがない。: 70 名 (45.8%)

●参加した理由について

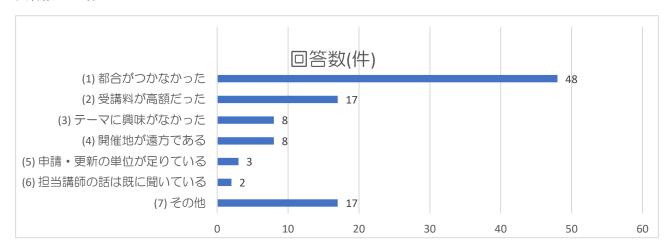
B-3 (DH) 参加した理由は何ですか? (複数回答可)

回答数:83件

(1) 興味あるテーマだった。: 54 名 (85.1%)、(2) 担当する講師の話を聞きたかった。: 21 名 (25.3%)、(3) 認定士申請・更新資格取得のため。: 67 名 (80.7%)

B-4 (DH) 参加しない理由は何ですか? (複数回答可)

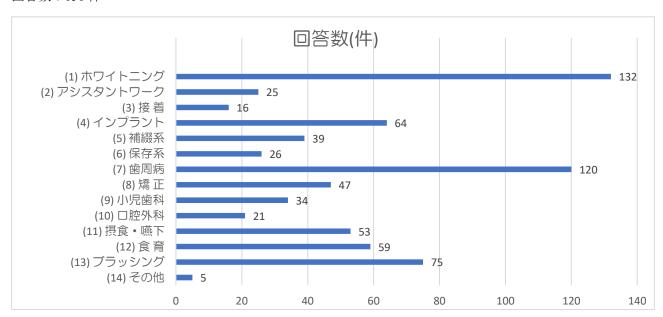
回答数:69件



●今後の学術大会やセミナーについてお尋ねします。

B-5 (DH) 希望するテーマを5個以内で選んでください。(複数回答可)

回答数:151件



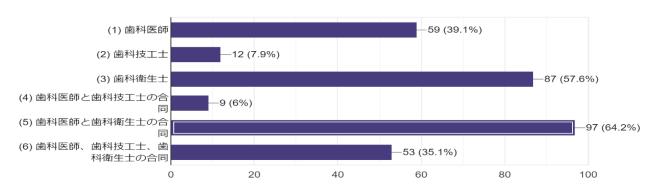
●講師について

B-6 (DH) 希望する講師について教えてください。(複数回答可)

回答数:151 件

B-6(DH) 希望する講師について教えてください。(複数回答可)

151 件の回答



B-7 (DH) 受講してみたい講師名とテーマを教えてください。

回答数:28件 <原文のまま>

椿先生

審美歯科治療全般的について

ホワイトニングのコンサルテーションについて

摂食嚥下の上田先生のお話はとても興味深く聞かせていただきました。

インプラント上部構造への TBI、ホームホワイトニングの効果的な方法(年齢など症例別で)

ホワイトニングのエビデンスについて

マイクロスコープによる SRP

高齢化社会における予防と審美

リハビリの植田 耕一郎先生の話はもう一度聞きたいと思った。菊谷武先生、松尾 浩一郎先生のお話も聞いてみたい。

ホワイトニングコーディネーターの取得後の活用できる、または症例の紹介やハンズオンが欲しい。資格を とっても思ったより活かしきれずモチベーションが下がる。

天野敦夫先生、杉山貴志先生

薄井由枝歯科衛生士

石原美樹先生、SRP、インプラントのメインテナンス

海外の現状など新しい知識がほしい。

長期症例とメインテナンス

インプラント部位の継続的なケアについて

訪問診療におけるホワイトニング、高齢者の審美感

仕事がマンネリ化しないため、刺激になるようなテーマ

ホワイトニングの現状 維持

口腔外科

土屋和子先生

かとうひさこさん 歯周病の治癒について、SRP の仕方

永瀬佳奈歯科衛生士 ホワイトニング

Dr ヒロ 歯周病

柏井伸子先生

●セミナーのみについてお尋ねします。

B-8 (DH) セミナーの開催は、年に何回程度が良いと思いますか?

回答数:150件

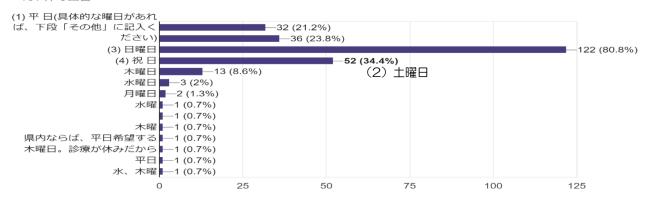
- (1) 1回:12名(8%)、(2) 2回:46名(30.7%)、(3) 3回:41名(27.3%)、(4) 4回:19名(12.7%)、
- (5) 5回以上: 32名(21.3%)

B-9 (DH) セミナー開催日として希望する曜日をお尋ねします。(複数回答可)

回答数:151 件

B-9(DH) セミナー開催日として希望する曜日をお尋ねします。(複数回答可)

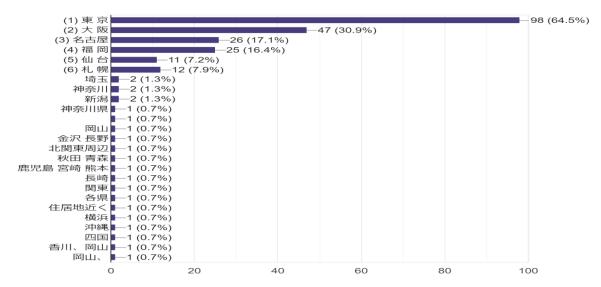
151 件の回答



B-10 (DH) 開催地の希望を教えてください。(複数回答可) 回答数:152 件

B-10(DH) 開催地の希望を教えてください。(複数回答可)

152 件の回答



●セミナーの形式についてお尋ねします。

B-11 (DH) セミナーはどのような形式が良いと思いますか? (複数回答可)

回答数:153件

(1) 講演を中心とした形式: 138 名 (90.2%)、(2) デモンストレーションを中心とした形式 (実習は行わない): 87 名 (58.9%)、(3) 実習を中心とした形式: 76 名 (49.7%)

B-12 (DH) 1日実習コースについて、どの程度の受講料であれば参加希望しますか?

回答数:152 件

(1) 1万円未満:100名(65.8%)、(2) 1万円以上-2万円未満:38名(25%)、(3) 2万円以上-3万円 未満:5名(3.3%)、(4) 3万円以上-4万円未満:0名、(5) 4万円以上-5万円未満:0名、(6) 5万円 以上:0名、(7) コースの内容が良ければ受講料は考慮しない:9名(5.9%)

B-13 (DH) 実習コースで受講してみたい講師とテーマを教えてください。(複数記載可)

回答数:20件 <原文のまま>

審美学会なので ホワイトニング & 審美補綴:椿

オフィスホワイトニングの手技。ホームホワイトニングのトレー作り。測色方法。口腔内写真撮影。ダイレクトボンディング手技。補綴物に合わせたメインテナンス方法。

DHを対象とした、ルーペ&マイクロを使ったスケーリング

冨士谷盛興:象牙質知覚過敏症に使用する薬剤のすみ分けと効果的な使用法

マイクロスコープによる SRP

ホワイトニング、スケーリング

ホワイトニング。より白く近づけることができるようになるコツなど。商品の使い方実習は不要。

SRP、シャープニング、口写、

石原美樹、SRP.インプラントメインテナンス

歯周ケアについては実習があると良い

訪問診療での高齢者の審美補綴、ホワイトニング

シャープニング

PMTC セミナー

西尾:ポリリン酸ホワイトニング

臼歯部 SRP について

ホワイトニング

SRP の仕方を初めての人でも分かるように教えていただきたいです!

ホワイトニング オパールエッセンスでの相互実技

インプラント

川崎律子: SRP

●セミナーのシリーズ化についてお尋ねします。

B-14 (DH) セミナーのシリーズ化について

回答数:152件

- (1) 何回かでシリーズとなっている方が良い。: 8名(5.3%)、(2) 単回で完結する方が良い。: 93名(61.2%)、
- (3) いずれでも良い:51名(33.6%)

B-15 (DH) シリーズ化を図るとすれば、何回程度を望みますか?

回答数:60件

(1) $5 \sim 6$ 回: 2 名 (3.3%)、(2) $3 \sim 4$ 回: 36 名 (60%)、(3) 2 回: 22 名 (36.7%)

●講演内容について

B-16 (DH) 一日講演コースへの御希望をお聞かせください。

回答数:151件

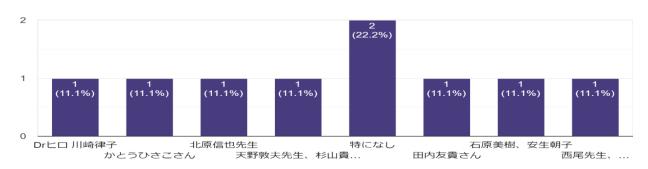
(1) 講演内容は一つのテーマで統一されたものが良い。: 83 名 (55%)、(2) 講演内容は複数のテーマを組み合わせたものが良い: 68 名 (45%)

B-17 (DH) 講演してほしい講師のお名前を教えてください (複数回答可)

回答数:9件

B-17(DH) 講演してほしい講師のお名前を教えてください (複数回答可)

9 件の回答



B-18 (DH) 一日の講演で講師は何人が良いと思いますか?

回答数:151 件

- (1) 1名:18名(11.9%)、(2) 2名:73名(48.3%)、(3) 3名:49名(32.5%)、(4) 4名:8名(5.3%)、
- (5) 5名以上: 3名(2%)

以上